

令和5年の素晴らしいスタートにあたって

みんなの地球を守るために

市木小学校6年 木野瀬 永和

僕は海が大好きで、市木の海によく行きます。そこでいつも気になることが、きれいな海の砂浜にたくさんのゴミが落ちていることです。先日は、「市木浜クリーン大作戦」という地域の活動がありました。実施1週間前に海に行ってみると、ペットボトル、縄、プラスチック、空き缶、ビンなど、たくさんのゴミが散らかっていたので、クリーン大作戦で「たくさんゴミを取ってきれいにしよう。」と思っていました。しかし、前日に海に行ってみるとゴミが少なくなっていたのです。そこには、近くまで海水が来た跡がありました。きっとゴミは、海に流されてしまったのでしょう。ゴミはあてもなく地球をさまよっているのです。僕は、何とも言えなく悲しくなりました。

僕たちは、これらのゴミが自分たち人間の出したゴミであることを、どれだけ意識できているのでしょうか。そして、僕たちが出すゴミが原因で、たくさんの生き物が苦しんでいることもどれだけ想像できているのでしょうか。

世界では、一日に約4274万トンものゴミを出しているそうです。みんな、ゴミを減らすべきだということは知っているはずですが、しかし、ゴミは減っていません。なぜなのでしょう。それは、人間は便利を求め、新しい物を手に入れ、古くなった物は捨てるからだだと思います。でも、僕も好きなサーフィンのボードを手に入れて、使っていて壊れてしまうとゴミにしてしまいます。のどが乾いたとき、ペットボトルのジュースを買って飲んでゴミにしています。僕もゴミを増やす当事者なのです。

だからこそ僕は、他人や社会を責めるのではなく、まずは自分が変わろうと思います。例えば、ペットボトルのジュースを買うのは楽で便利ですが、できるだけ水筒に水を入れて持ち歩く習慣をつけます。そして、必要な物だけを持ち、できるだけリサイクルして物を大事に使っていきます。地球に悪い物も使いません。もし、ゴミを見つけたら、自分のではなくても拾います。そんな考えや行動を積み重ねることで、世界に少しずつでもいい影響を与えていくはずですが、そして、それはみんなの協力を生み、大きな流れを作っていくと信じています。

僕は、自分ができることを自分で考え、行動に移せる大人になりたいです。さらに、自分たちの時代だけでなく、未来のこと、人間だけでなく地球に生きる全ての生物、そして、地球のことも考えられるようになりたいです。そんな人が増えることで、僕の好きな海のゴミはきっとなくなると 생각합니다。美しい地球に生きていけるように、なりたい大人になれるように、今からできることを行動に移していきます。



※1月14日に開催された串間市青少年の声を聞く会で意見を発表した木野瀬永和さんの作文です。1月6日の始業式でもみんなの前で発表してもらいました。海を愛する永和さんだからこそ、実感し、自分にできることは何かを考え、行動に移していこうとする決意が述べられています。「知って」「感じて」「考えて」「行動する」ことは、SDGsの基本ですが、ありがたい自分の姿を目指す上でも大切なことだと思います。

参観日、学校保健委員会、ありがとうございました。



1月13日は、授業参観と学校保健委員会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、急遽、内容を変更させていただくこととなり、大変御迷惑をおかけしました。1月も下旬に入り、ようやくコロナの状況も少し落ち着きを見せ始めました。これからいよいよまとめの時期となります。改めて、一日一日を大切に、心と心を感動でつなぐ瞬間を重ねていきたいと思えます。

学校保健委員会では、第1回に引き続き、歯の健康について考えていただきました。歯でも目でもメディア関係でも、その大切さや重大さを十分に自覚できないままに大きな岐路に立たされてしまっているというのが子どもたちの現状です。めんどくさいと思う気持ちや、逆にやりたくてたまらないという気持ちが先に立ち、気づいた時には大切なものを失っている。そんなことにならないよう手立てをとるのは、大切さや重大さを十分に認識できる周りの大人の役割だと思えます。



MRT「わけもん」の取材がありました。



1月16日に、MRTのテレビ番組「わけもん」の取材がありました。番組の「郵便番号の旅」というコーナーで市木地区を紹介するというので、小学校にも声がかかり、子どもたちの普段の様子を取材していただきました。

子どもたちは、昼休みになると、天気さえ良ければ、毎日、学年、男女関係なく、元気に仲良くサッカーをやっています。2月1日の当番組では、レポーターそっちのけでサッカーを楽しむ子どもたちの様子が放送されることと思えます。ぜひ御覧ください。

アメリカとZOOMでつながりました。(再)

1月23日に、市木出身、サンフランシスコ在住の右松孝臣さんとZOOMでつながりました。昨年に引き続き2度目のZOOMです。昨年は、キャリア学習として、全校児童を対象に、市木からアメリカに渡った思いや、アメリカと日本の学校の違い等について紹介していただきました。

今回は、情報教育の一環として、5・6年生を対象に、右松さんが開発した英語学習アプリ「BimoBila」を紹介していただきながら、プログラミングの考え方などについてお話しいただきました。英文をスマホのカメラで撮影すると、その英文を基に、単語の意味を問うクイズや穴埋め問題をつくってくれたり、その英文を音声として聞いたり、真似てみたりすることもできる優れたものです。当日は、ZOOM上でアプリを起動し、実際に単語クイズに挑戦しながら、思いを形にするプログラミングの考え方について学びました。



2月の行事予定

2日	全校集会	20日	クラブ活動
3日	新入児保護者説明会・低学年交流	22日	参観日(学年別学習発表会)
17日	保育所園児との交流会(低学年)	27日	委員会活動(反省)

